

擁壁の被害状況

タイプ	雑石積み (間詰めなし)	雑石積み (間詰めあり)	コンクリートブロック	重力式コンクリート	補強土 (テンスー巻き込み式)
擁壁のタイプ	数箇所あり (宅地)	多数あり (宅地)	数箇所有り (主として公共施設)	数箇所有り (主として公共施設)	一箇所 (公園)
擁壁の高さ	1m程度でも崩れている箇所があった。	1.5mの高さでもクラック程度で収まっている。2.7m 程度で崩れている箇所があった。	5m 程度まではたてクラックが発生する程度	2m までの重力式擁壁あり 若干前に転倒し、背面が開こうしている程度	3m の高さ 4 分勾配はらみだし有り 巻き込み部分のテンスー一破断あり
控え幅 (擁壁の厚さ)	控えの幅が小さいほど変状は大きくなる傾向にあった。 コーナー部分の変状が顕著であった。				
背面の・基礎の土質	まさ土を主体とした地山あるいは盛土 明確な判断は難しいが基礎の部分が盛土の場合大きな被害が生じているように思える。				
揺れの方角と壁の向き	東向きの壁に比べて南向きの壁に損傷が甚大				

被害状況

大

→、↓